

平成 20 年岩手・宮城内陸地震における福島県ドクターヘリ活動報告

福島県立医科大学救命救急センター
島田 二郎

【活動の経過】

- 8:43 地震発生、ドクヘリ内で無線チェック中、大きな揺れを感じたテレビで、最大震度が震度6強であることを確認し、ヘリによる DMAT 出動を決意。
- 8:50 ヘリポートより CS 室に戻る。出動のための、調整を始める(主に電話連絡で、まずは出動の許可を得ること)
- 9:00 出動準備完了(必要物品選定と詰め込み終了)。関係各位の許可を得て(救命センター長、病院長、事務担当者など)
- 9:41 出動決定。
- 9:43 災害対策本部(東京立川災害医療センター内)と電話連絡し、ドクヘリ出動を伝え、参集病院を聞く。CS が着陸ポイントの調整を進める(難航)。
- 10:22 着陸ポイント決定、エンジンスタートし出動。
- 11:05 宮城県大崎市、新江合川緑地公園グラウンドに着陸し、病院までの道筋を考えていたところ、大崎市民病院屋上ヘリポートへの着陸許可が出る。
- 11:20 緑地公園グラウンド離陸。
- 11:23 大崎市民病院屋上ヘリポートに着陸し、同病院災害対策本部と協力し DMAT 本部を立ち上げる。上空からの観察、及び病院、その他からの情報により、DMAT 本部をより震源近くに移動することを立川災害本部に進言し、移動が決定(この間、ヘリは仙台空港で給油を行う(以下、11:43~13:29 はヘリのみ動き))。
- 11:43 大崎市民病院離陸 仙台空港へ給油のため向かう
- 12:01 仙台空港着陸 給油を実施
- 12:25 仙台空港離陸 大崎市新江戸川緑地公園に向かう
- 12:40 大崎市新江戸川緑地公園着陸
- 13:26 大崎市新江戸川緑地公園離陸 大崎市民病院へ向かう
- 13:29 大崎市民病院着陸 Drをピックアップ
- 13:30 大崎市民病院離陸 築館総合グラウンドへ向かう
- 13:40 栗原総合運動公園陸上競技場臨時ヘリポートに着陸。
- 14:06 地元消防の救急車で栗原市民病院に移動。
- 14:30 ドクヘリの機動力を生かし、孤立した、駒の湯温泉建物崩壊現場へ向かうことに決定。
- 15:00 競技場臨時ヘリポート離陸。

- 15:12 ハイルザーム栗駒駐車場臨時ヘリポートに着陸。現場視察を行うが、救出に時間がかかりそうなこと、現場が安全でないことから、DMAT 本部と協議し撤収を決定。
- 16:17 ハイルザーム臨時ヘリポートから離陸。
- 16:28 栗原総合運動公園臨時ヘリポートに着陸し、その場で待機。
- 16:30 厚生労働省よりバス転落事故患者の転院搬送依頼があるが、第2DMAT 本部（岩手県立胆沢病院内）との協議により、青森県防災ヘリによる搬送が決定。
- 17:30 防災ヘリが燃料不足のため搬送不能であることが判明し、再度搬送依頼を受ける。
- 17:41 ヘリポート離陸。
- 17:55 岩手県立水沢高校臨時ヘリポートに着陸。両側血胸患者の搬送準備に入る。
- 18:13 同ヘリポート離陸。
- 18:35 盛岡東警察署屋上ヘリポートに着陸。岩手医大まで救急車で搬送する。日没が迫り、申し送りも早々に警察署に戻る。
- 19:06 警察署屋上ヘリポート離陸。
- 20:11 帰院。出勤時間、約 10 時間、飛行時間、約 3 時間 30 分、飛行距離、約 700 km であった。この間、福島県内で3件の出勤要請があったが、全てキャンセル。